

2012-B					
拠出金・基金の名称:		大西洋まぐろ類保存国際委員会拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 我が国にとって大西洋は主要漁場であるところ、当海域におけるマグロ類の持続的な利用のため、大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT) により、マグロ類の資源管理措置の強化や科学的調査の高度化が進んでいる。しかし、マグロ類の漁場を有し、漁獲を行っている沿岸途上国の漁業管理体制や調査技術は十分ではなく、資源管理などの能力向上のための支援が必要となっていることから、ICCAT事務局を通じ、沿岸途上国の漁業管理及び調査能力の向上を目的とする協力を行うことにより、ICCATが決定する資源保存措置の有効性を一層確保し、将来にわたりマグロ類の安定的な供給の確保を図る必要がある。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成24年度	35,021	312,696	-	1ユーロ = 112円	100
平成23年度	40,089	334,075	-	1ユーロ = 120円	100
平成22年度	42,648	318,268	-	1ユーロ = 134円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ICCAT条約水域である大西洋において、100隻前後の日本漁船が操業しており、また、外国からの輸入を含め、日本に供給されているクロマグロの1/3が大西洋クロマグロであることから、非常に重要な海域となっている。 近年、大西洋のマグロ資源水準は低位であるところ、経済発展を目的とした沿岸途上国の加盟が増加したが、複雑化、高度化する資源管理措置への対応が困難になっている。それらの沿岸途上国による効果的な保存管理措置の導入を支援することが急務となっていることから、ICCATの果たす役割は重要と評価。 また、この事業を実施するにあたり、我が国から事務局にコーディネーターを派遣していることから、当該機関への我が国への意見が反映することが容易となっている。					